

第24期第9回運営委員会報告

日時：2009年3月31日 12:00～15:00

会場：JAMSTEC 東京事務所

出席者（第24期敬称略）（15名/定足数11人）：歌田久司、津田敏隆、阿部琢美、石井守、石川尚人、河野英昭、北和之、木戸ゆかり、齋藤昭則、高橋幸弘、田口真、長妻努、山本衛、吉川一朗、清水久芳

欠席者（敬称略）：小川康雄、臼井英之、野澤悟徳

[第25期出席者（敬称略）：家森俊彦、小田啓邦、坂野井和代、塩川和夫、篠原育、堤雅基、畠山唯達、村田功]

1. 第25期役員選挙結果報告

・平成21年1月19日に開票された第25期役員選挙の開票結果と、運営委員長枠の検討結果が報告された。第25期役員は以下のとおり確定した。

会長：津田敏隆（規約第9条による）

副会長：家森俊彦

評議員：藤井良一、中村正人、本蔵義守、深尾昌一郎、浜野洋三、湯元清文、小野高幸、山崎俊嗣、渡部重十、歌田久司（規約第9条による）、

運営委員：木戸ゆかり、清水久芳、石井守、篠原育、塩川和夫、長妻努、小田啓邦、山本衛、齋藤昭則、阿部琢美、畠山唯達、坂野井和代、河野英昭、吉川一朗、村田功、堤雅基

2. 前回（第24期第8回運営委員会）議事録の承認

・承認された。

3. 入退会審査

・3名の入会が承認された。

正会員（一般）1名：齋藤慎司（所属：名古屋大学、紹介者：関華奈子・三好由純）

正会員（学生）2名：尾崎光紀（金沢大学、長野勇・八木谷聡）、木村智樹（東北大学、三澤浩昭・土屋史紀）

・12名の退会が承認された。

退会 9名：川上修司、園井康夫、丸山伸夫、大久保綾子、関克隆、庄司香織、吉田滯、岩坂泰信、田中浩、武井恵雄、松尾敏郎、中山浩

・6名のシニア会員申請が承認された。

正会員（シニア）6名：鈴木亮、藤井善次郎、住友則彦、向井利典、森岡昭、恩藤忠典

4. 研究助成関係

・山田科学振興財団研究援助への本学会からの推薦について、これまでの審議経過と、次の2件を本学会より山田科学振興財団へ推薦することが報告された。

(I) 大村善治会員（京都大学生存圏研究所）：宇宙プラズマ中の電磁ホイッスラーモード波の非線形励起過程の研究

(II) 小嶋浩嗣会員（京都大学生存圏研究所）：飛散型宇宙プラズマ密度計測システムに関する基礎研究

・若手国際交流事業への応募が今回もなかった。本事業の積極的な利用・申請を若手研究者に促すこととした。

5. 個人情報保護方針

・「地球電磁気・地球惑星圏学会プライバシーポリシー（案）」が提示され、内容について議論・調整を行った。本ポリシーを、「個人情報取り扱い内規」として制定することとした。

6. 各担当からの報告（次期への引継ぎ）

・各担当より、第24期の成果と第25期で検討すべき課題等について、報告された。

7. その他

・2008年11月9～12日に仙台で開催された秋学会の参加者数が報告された。

総数 422 名（正会員 231 名、学生会員 35 名、非会員（一般） 123 名、
非会員（学生） 30 名、名誉会員 3 名）

・4月からの本学会の連合プログラム委員として、小田委員と吉川委員が選出された。

第25期第1回運営委員会報告

日時：2009年3月31日 15:15～17:05（第24期運営委員会に引続き開催）

会場：JAMSTEC 東京事務所

出席者（敬称略）（18名/定足数11人）：津田敏隆、家森俊彦、阿部琢美、石井守、小田啓邦、河野英昭、木戸ゆかり、齋藤昭則、坂野井和代、塩川和夫、篠原育、堤雅基、長妻努、畠山唯達、村田功、山本衛、吉川一朗、清水久芳

欠席：なし

1. 役割分担

- ・第25期の役割分担と内容が説明された。役割分担は以下のとおり。

会長：津田敏隆、 副会長：家森俊彦、 総務：山本衛、
庶務：清水久芳(主)、塩川和夫、会計：阿部琢美(主)、村田功、
雑誌（EPS）：齋藤昭則(主)、小田啓邦、
秋学会：篠原育(主)、小田啓邦、河野英昭、山本衛(アドバイザー)、
連合大会プログラム委員：吉川一朗、小田啓邦、
連合対応：石井守(主)、清水久芳、小田啓邦(環境)、坂野井和代(キャリアパス)、
広報(web)：堤雅基(主)、畠山唯達、齋藤昭則(アドバイザー)、
広報(会報)：河野英昭(主)、村田功、吉川一朗、
アウトリーチ：長妻努(主)、畠山唯達、坂野井和代、篠原育、堤雅基、
男女共同参画：木戸ゆかり(主)、長妻努、坂野井和代、
助成金・学生発表賞：塩川和夫(主・学生発表賞)、吉川一朗(助成金)、木戸ゆかり、
石井守、阿部琢美(アドバイザー)、
60周年記念誌(時限)：石井守(主)、清水久芳

2. 特別表彰

- ・特別表彰の推薦があったことが報告された。5月の評議員会までに賞の授与に関する決定をする。

3. 学生発表賞に関する規約改定

- ・学生発表賞の運用について、現状に則するために規約改定が必要であることが説明された。

- ・規約第20条の改定案が提示され、議論を行った。改訂案は以下（下線部）のとおり。

（旧）評議員会は次の事項を担当する。

1. 本学会賞の審査、他学会賞および奨励金などの受賞者の推薦。
2. 重要案件に関する運営委員会への助言。

（新）評議員会は次の事項を担当する。

1. 本学会賞の審査、他学会賞および奨励金などの受賞者の推薦。

2. 重要案件に関する運営委員会への助言。

なお、本学会賞審査については、その賞の性質上必要と認められる場合には、評議員会の議決を経て、内規で規定する組織にその事項を付託することができる。

- ・本規約改定案について連合大会時の総会で議決する。

4. 60周年記念出版

- ・目次案はほぼ確定し、原稿も順調に集まっていることが報告された。
- ・配布、販売方法について、今後も議論を継続することが確認された。

5. JpGU 関係

- ・連合学術出版委員会で、出版物に関する問題について議論されていることが報告された。
- ・EPS 誌と JpGU の関係について、運営委員会で引き続き議論を行う。

6. 秋学会関係

- ・本年度秋学会開催までの日程について、説明された。重要な日程は以下の通り。

4 月初旬：特別セッション募集（メールリスト、会報）

5 月下旬：セッション情報決定

6 月 15 日頃：講演要旨 Web 投稿開始（会報にて周知）

7 月 17 日頃：講演要旨投稿〆切

8 月中旬（お盆前）：プログラム確定

9 月 27 日－30 日：平成 21 年度秋学会開催（金沢大学）

- ・Web 投稿のシステム使用料が本年度値上げされることが報告された。
- ・冊子体プログラムの必要性について、引き続き運営委員会において議論をする。
- ・来年度秋学会の候補地が挙げられた。今後、学会開催について打診をする。

7. 次回運営委員会・評議会・総会

運営委員会：5/16（土）17:00－20:00（会場：203）

評議会：5/17（日）18:00－20:00（会場：203）

総会：5/18（月）12:30－13:30（会場 303）

8. その他

- ・新学会賞

- 学際領域において、他学会でも活躍している会員を表彰する賞設立の準備があることが報告された。今後詳細について議論を開始する。

(清水久芳)